



新型コロナウイルス感染症による臨時休業が明けて

新型コロナウイルス感染症により3月3日、4日を全校臨時休業とし、皆様には大変ご心配をおかけしました。この間、学校では関係箇所を全職員で消毒したり、改めて新型コロナウイルス感染防止対策を確認したりするなどし、本日の学校再開に至っております。3学期に入り、県内各地で感染が後を絶ちませんが、学校においてその拡大を防ぐことは大変重要なことだと認識しております。本日も各学級において、朝の会で感染防止対策について具体的に確認をしたところです。ご家庭でも改めてご家族での感染予防についてご確認いただきたいと思います。

なお、このたび関係者にPCR検査が実施されました。現在、倉吉保健所では濃厚接触者として特定された場合はもちろんですが、検査対象を幅広く設定されており濃厚接触者と特定されていない場合でも、状況に応じてPCR検査を実施されています。そのため、分析されるところに持ち込まれる検体数がかなり多くなり、今回のケースでは、午前中にPCR検査をしても、検査結果が出たのが午後9時を過ぎる状況も生じました。検査を受けられた皆さんには大変ご心配をおかけしました。また、遅くに学校から連絡をさせていただいたにもかかわらず、全てのみな様が丁寧に対応してくださり、中にはねぎらいの言葉をかけてくださる方もいらっしゃいました。感謝、感謝です。

おわりになりますが、感染された方には心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。

最終進化で有終の美を飾ろう！

季節が巡るのは早いもので、3月、本年度最後の月となりました。ついこの前、大雪で臨時休業をしたところですが、昨日河川敷きを通っていると菜の花が咲いていました。気付けばいたるところに春の息吹が感じられるようになっていきます。

学校では、各学年の学習のまとめはもちろんのこと、18日の卒業式に向け特に6年生は生活に緊張感が漂っています。卒業式練習はもちろんですが、卒業プロジェクトも遂行中で、日々様々な取り組みを行っています。先日、6年生の代表が学校運営協議会の代表の新川会長さん、松原さん、新さんに手紙を渡していました。その手紙は、登下校時にお世話になっている校区のルックチルドレンの皆さんへの感謝の手紙でした。その3人の方々がルックチルドレンの方々に届けてくださいました。新川会長さんから、「ルックチルドレンの皆さんに6年生からのお礼のメッセージを届けたら、皆さんがとっても喜んでくださっていました。」とのお返事が届きました。保護者の方々はもちろんのこと、たくさんの地域の方々にも支えられ、あと2週間で卒業式を迎えます。

さて、年度当初から子どもたちには、「この1年間を通して羽合小学校を進化させよう」と話してきました。職員で児童の成長について振り返ったところ、「あいさがきちんとできる児童が増えている」「いいとこみつけをして自信を持てたり、友だちのよさを色々な視点でみつけられたりできるようになった」など、たくさんの成長の様子が見られています。

全校児童が自分自身を磨き、学級力を高め、羽合小学校を素敵な学校へとそれぞれ進化させてきました。6年生は卒業というゴールへと11日、在校生は修了式まであと17日となりましたが、それぞれのゴール（夢、目標、やり遂げなければならないこと）をめざし、最後の粘りを発揮してほしいと思います。そして、最終進化を遂げ、それぞれの有終の美を飾ってほしいと願っています。

